

令和5年度事業報告について

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレからの完全脱却に向けて、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている。

多くの大企業では賃上げ要求に対して満額に近い回答がなされており、生産性を向上させ賃金原資を確保していくことは王道ですが、中小企業にとっては非常に難しい課題であります。

そうした中、当協会は、令和5年度も下記のとおり定時社員総会1回、及び通常理事会3回を開催した。また、基幹的分野である業務、海務及び労務の3専門分野を中心とする委員会活動等は対面による開催を行った。

船員採用問題等検討委員会も1回開催し船員採用促進に向けた活動の総括を行った。

1. 会務運営上開催した会議

(1) 定時社員総会

開催回数	1回	出席人数	49名
(第69回)			

(2) 通常理事会

開催回数	3回	出席人数	71名
合計	3回		120名

2. 事業運営上開催した会議等

(1) 業務専門委員会	開催回数	2回	出席人数	71名
(2) 海務専門委員会	開催回数	2回	出席人数	67名
(3) 労務専門委員会	開催回数	2回	出席人数	67名
(4) 機関誌編集委員会	開催回数	1回	出席人数	11名
(5) 各委員会小委員会				
船員採用問題等検討委員会	開催回数	1回	出席人数	17名
近代化タグボート研究委員会	開催回数	1回	出席人数	35名

3. 事業実施概要

業務、海務及び労務の3専門委員会等を中心に、次のとおり事業活動を推進した。

(1) 専門委員会活動

①業務専門委員会

各地区における曳船事業を取り巻く環境の報告を受け、港湾の機能及び企業運営にかかわる諸問題を討議した。また、日本海地区より石川県七尾港の震災による港湾施設の被害状況と震災後の入港状況が報告された。

また、船員採用問題等検討委員会委員長より昨年度までの活動状況と第6回船員採用問題等検討委員会の報告を受けた。

気象庁から地震に関する臨時情報が発表された場合のタグの行動に関連して、

東日本大震災に係る参考資料と南海トラフ地震に係る参考資料についての紹介が行われた。

②海務専門委員会

現場におけるヒヤリハット事例を収集、分析し、タグボート作業の安全を推進する活動を継続した。第1回、第2回とも18件のヒヤリハット事例の検討が行われた。また、港湾タグボート係留基地の確保と整備に関する要望を国土交通省港湾局に提出したことが報告され、各地区の状況について意見交換がなされた。第18回近代化タグボート研究委員会が「カーボンニュートラル化に係わる開発状況」を議題として開催され、2件のプレゼンテーションが行われたことが報告された。第6回船員採用問題等検討委員会の概要が報告された。

③労務専門委員会

各地区の労務関連情報の交換、労働協約についての意見交換を継続した。船員採用問題については労務問題の一環として船員採用問題等検討委員会委員長より報告を受けた。第18回近代化タグボート研究委員会が「カーボンニュートラル化に係わる開発状況」を議題として開催され、2件のプレゼンテーションが行われたことが報告された。また、国土交通省による船員の働き方改革関連会社監査について、実際に監査を受けた会社より監査内容について報告がなされた。

相互扶助のための労働災害総合保険団体契約を継続した。

(2) 教育・訓練活動

①技術研修会

協会主催による機関部乗組員を対象とした技術研修会を2回開催し、東日本地区（横浜市で開催6社23名参加）及び西日本地区（神戸市6社12名）で計35名が参加した。

②委託研修

海技大学校に委託している研修では、甲板部を対象に「タグシミュレータ研修」（3回）、「タグBRM訓練研修」（1回）、及び機関部を対象に「電気研修（初級）」（2回）、「アーク溶接研修」（1回）、「油圧回路研修」（2回）を実施した。

参加者総数は、4ページに示す参加実績のとおり、12社26名であった。

「小型ディーゼル機関開放研修」は今年度も取り止め、となった。

(3) 調査・報告活動

①各種調査

例年のとおり以下の調査を実施し、報告書にまとめ、関係専門委員及び会員に配布した。

「曳船燃料油価格調査」、「賃金調査」及び「臨時手当調査」

②「会員・所属タグ一覧表」の作成・発行

令和6年1月1日現在の会員について、組織概要並びに所属タグの現況調査

を実施し、同年1月に「会員・所属タグ一覧表」を作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

③調査統計報告書の作成・発行

令和5年1月1日現在の会員の運航タグ及び船員関係調査等の集計に基づく、「会員所属タグ調査統計並びに全国港湾入港船舶数抽出値統計」の報告書を同年4月作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

④船員採用に資するため、動画「タグという選択」及び、パワーポイントテンプレート「私たちの仕事」を作成し、CD-ROMに収め、会員に配布した。

⑤機関誌「ハーバータグ」等の発行

令和6年1月23日に第54号を発行し、会員及び関係先に配布した。また、令和5年7月、「タグ事業協会だより」をホームページに掲載した。

4. 会員数

令和5年4月1日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	賛助会員	2名
					計101名

令和6年3月31日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	賛助会員	2名
					計101名

5. 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので附属明細書は作成しない。

以上

令和5年度タグ乗組員技術研修等参加実績

(1) タグ乗組員「技術研修」

研修の種類	回数	開催日程	開催地
タグ乗組員技術研修	第1回 東日本地区	令和5年9月1日	横浜市 (6社 23名)
	第2回 西日本地区	令和5年11月10日	神戸市 (6社 12名)

(2) タグ乗組員「委託研修」

研修の種類	開講回数	開催日程	受講人数
タグシミュレータ研修 (定員3～6名/回)	第1回	令和5年6月6日～7日	3名
	第2回	令和5年10月10日～11日	4名
	第3回	令和6年1月23日～24日	3名
		計	8社 10名
電気研修(初級) (定員3～5名/回)	第1回	令和5年6月1日～2日	4名
	第2回	令和5年9月26日～27日	2名
	第3回	令和6年2月1日～2日	取り止め
	第4回	令和6年2月27日～28日	取り止め
		計	4社 6名
アーク溶接研修 (定員4名/回)	第1回	令和5年6月26日～27日	1名
	第2回	令和5年10月16日～17日	取り止め
	第3回	令和6年3月4日～5日	取り止め
		計	1社 1名
油圧回路研修 (定員3～5名/回)	第1回	令和5年5月30日～31日	2名
	第2回	令和5年9月28日～29日	4名
	第3回	令和6年1月30日～31日	取り止め
	第4回	令和6年2月29日～3月1日	取り止め
		計	4社 6名
タグBRM訓練研修 (定員4名/回)	第1回	令和5年6月8日～9日	3名
	第2回	令和5年10月12日～13日	取り止め
	第3回	令和6年1月25日～26日	取り止め
		計	3社 3名
小型ディーゼル機関開放研修 (定員4名/回)		今期は取り止め	
		総 計	12社 26名

※電気、油圧研修連続参加者については
カウント2としている